

令和 8 年 6 月 1 9 日
独立行政法人航空大学校

ヘリコプター操縦士養成コースの設置について

航空大学校では、現在、エアライン操縦士の養成を実施していますが、これに加えて、ドクターヘリや消防防災ヘリ等のヘリコプター操縦士の養成コースの設置に向けて準備を開始することとなりました。

ドクターヘリや消防防災ヘリ等は我が国の暮らしを支える重要な役割を果たしていますが、そのヘリコプター操縦士は高齢化が進んでおり、今後の人材確保が課題となっています。このため、国土交通省航空局が関係省庁と連携して対策の検討を進めてきたところであり、そのとりまとめにおいて本校における養成コースの設置が掲げられたところです。

本養成コースにおいては、既にライセンスを持つ若手操縦士に対し、必要な基礎的技術や飛行経験を効率的・効果的に付与することとしております。今般、公益財団法人日本財団の助成事業として「緊急輸送用ヘリコプター操縦士養成事業」が採択されたことを受け、令和 10 年度末頃からの養成開始に向け、本校において、日本財団からの助成により訓練機やシミュレータ等の調達を進めるとともに、国土交通省航空局や各運航者とも緊密に連携し必要な準備を進めることとしています。

航空大学校としては、これまでエアライン操縦士の養成で培ってきた質の高い操縦士養成の実績・ノウハウを最大限に活かし、ヘリコプター分野においても次世代の操縦士の養成を進め、我が国のドクターヘリや消防防災ヘリ等の安定的な運航に貢献してまいります。

以上